

消費者被害注意報

No. 119

その URL のクリック、ちょっと待って！

悪質商法
ひっかからん蔵



にご注意ください！

フィッシング詐欺とは、クレジットカード会社、宅配業者、銀行などの実在する組織を騙るメールや SMS を送信し、IDやパスワード、クレジットカード番号、口座番号などの個人情報を詐取する手口です。

クレジットカード会社を 騙るメール

「あなたのクレジットカードが不正利用されている。取引を確認してください」とのメールが届き、記載されていたURLから、IDやパスワード、クレジットカード情報を入力してしまった。

宅配業者からSMS

「荷物を届けたが不在だった」とのSMSが届き、記載されていたURLから、再配達の手続きをしたところ、「再配達料が発生する」と書いてあり、クレジットカード情報を入力してしまった。

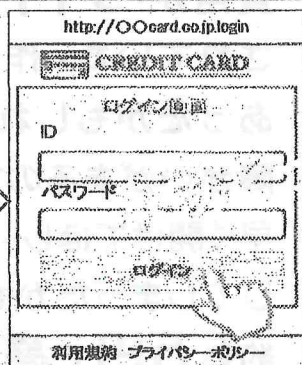
銀行からSMS

「セキュリティ強化のため、一時停止しております。再開手続きをしてください」とのSMSが届き、記載されていたURLから、IDやパスワード、口座情報を入力してしまった。

フィッシングの手口



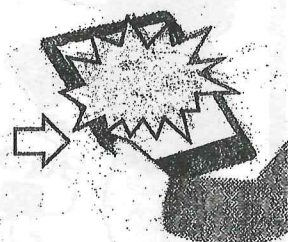
① 偽メールやSMSが届く。



② 記載されているURLから偽サイトに誘導される。



③ 誘導された偽サイトで個人情報等を入力する。



④ 入力した情報が不正利用されて身に覚えのない請求を受ける。

消費者トラブル防止のために

- SMS 上の URL をクリックしないことです。まずフィッシング詐欺を疑い、事前にブックマークした正規のサイトや正規のアプリからアクセスしてください。
- メールや SMS から誘導された偽サイトにアクセスしてしまっても、個人情報は入力しないようにしてください。
- 偽サイトに ID・パスワード・クレジットカード番号・口座番号等を入力してしまったら ID・パスワードはすぐに変更し、クレジットカード会社や金融機関などにも連絡してください。

商品・サービスの契約トラブルは千葉市消費生活センターへ

相談専用電話

043-207-3000

※月曜日～土曜日 9:00～16:30 ※祝日・年末年始は除く

見守り 新鮮情報

事例1

夜、自宅の鍵を紛失したことに気がつき、
ネットで見つけた鍵交換業者に
連絡すると「通常5千円～3万円。最高で5万円」
と言われた。作業前に料金を確認したが返事がない
まま作業され、作業後約10万円の高額な請求
を受けた。(70歳代)

鍵の出張作業を頼んだら 想定外の料金に!



©Kurosaki Gen

事例2

自宅の鍵を紛失し、
ネットで探した事業者
に開錠を依頼した。サイトには開錠
費用が「3千円～8千円」と記載
されていた。作業前に費用の説明が
あったかもしれないが、聴覚などの
障がいがあるのでうまく聞こえず、
早く開けてほしい焦りもあって返事を
してしまったかもしれない。請求額は
約6万円が高額だ。(30歳代)

ひとこと助言

焦らず
納得できるまで!



見守るくん

- 鍵の紛失等に気づいたら、まずは慌てず、家族や周りの人に相談しましょう。
- 時間帯や現場の状況により、ネットの広告に表示された料金で依頼できる
とは限りません。焦らず、作業してもらう前に納得できるまで説明を求め、
作業内容と料金は必ず書面で確認しましょう。
- 料金や作業内容に納得できない場合は、後日納得した金額で支払う
意思があることを示しつつ、その場での支払いは断りましょう。
- 緊急時に備え、所有する鍵の種類やメーカーなどを確認し、信頼のおける
事業者の情報を調べておくとう安心です。賃貸住宅の場合は大家や管理
会社に対応方法を確認しておきましょう。
- 広告などの表示額と実際の請求額が大きく異なる場合など、事業者と
トラブルになった場合は、早めにお住まいの自治体の消費生活センター
等にご相談ください(消費者ホットライン188)。